

2024-07-19



Nannou 校長通信 No. 41

1 学期終業式



7月19日(金)1学期の終業式が行われました。かなりの猛暑のため、教頭先生の学事報告をQRコード、校長講話は原稿の配布により時間を短縮し実施しました。そして、生徒会長の山城飛竜さんが1学期の振り返りと2学期への思いを話してくれました。最後に8月末で任期を終える、2年1組担任の宮城あい先生、体育科の山川千砂登先生の離任の挨拶もあり、生徒達も少し寂しそうな表情をみせていました。

「何かひとつ」…夏休みの間にできることを

県立南部農林高等学校

校長 屋嘉比 仁

南部農林高校の生徒のみなさん、おはようございます。

今年の夏は記録的な猛暑日がつづき、屋外での授業や農場実習など大変だったと思います。そのような中でも一生懸命に日々の授業に「誠実」に取り組んでいる姿に南農生の力強さを感じます。

一学期は、教頭先生の学事報告にもあったとおり、多くの行事や各種大会などが行われました。さりげなく笑顔であいさつして話しかけてくる生徒、実習で育てた野菜や加工品などの生産物を販売する生徒、資格取得や検定に取り組む生徒、部活動で練習に励む選手や部活を支えるマネージャー、早朝から牛の世話をする生徒、農業クラブ大会で発表・各種競技に取り組む生徒、学校外でのイベントやボランティアに休日にも関わらず積極的に地域のために貢献する生徒、悩んだ時に相談に来て気持ちを切り替えて頑張る生徒など…生徒の皆さんの良い場面、頑張っている姿を保護者の方々に知ってもらい自信にしてほしいという思いで、私自身もできる限り多く校長通信を発行しました。

さあ、明日から約40日間の夏休みがスタートします。その間、夏休みにしかできない「何かひとつ」を決めて、ぜひ行動してください。「苦手な科目の復習を○ページする」、「学校で学んだ○○を家でも作って特技にする」など、できるだけ具体的に組み立ててみてください。継続することで大きな力になると思います。時間はあっという間に過ぎます。スマホをさわって気づいたら一日終わっていた…とならないように、一日一日を大切に過ごしましょう。

夏休み期間、物事がうまくいかない時や悩んでいる時、辛いときには、一人で悩まず学校に連絡して担任の先生や学科・教科の先生方に相談してください。

先日、県出身ラッパーのAwichさんがある講演会で次のように話されていました。

「自分がこの環境で辛いと思っているんだったら、それは人には持てない財産だと思ってほしい。人はその経験をできていないから。その経験があなたのストーリーであなたの財産になっていく。」

以前、校長講話で話をしましたが、学校での様々な経験があなたの大きな財産となります。「できる」「できない」より「やる」「やらないか」を胸に頑張ってください。

それでは9月2日の2学期始業式、笑顔で元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。読んでくれてありがとうございました。